

NEWS RELEASE

2026年10月13日
日本ナレッジスペース株式会社

「がん対策は、企業が担うべき重要な経営課題」

厚生労働省主催「がん検診受診率向上推進 全国大会」へ参加し、最新知見を社内還元

～万が一の時も社員が「安心して治療に専念できる環境」をさらに強固に～

日本ナレッジスペース株式会社は、社員の命と健康を守る「健康経営」の一環として、がんの早期発見・治療両立支援のさらなる強化を目的に、令和8年10月13日に開催された「厚生労働省 がん検診受診率向上推進 全国大会（東京）」へ当社の健康経営担当者が参加いたしました。

本大会で得られた「大人のがん教育」の重要性や、先進企業の取り組み事例といった最新知見は、当社が現在展開している「がん予防から万が一の治療までを網羅した独自の福利厚生」をより実効性の高いものへとアップデートするために、速やかに社内へ還元・反映してまいります。

■ 全国大会参加の背景：なぜ当社は「がん対策」にこだわるのか

日本人の2人に1人が生涯でがんに罹患すると言われる現代において、「がん」は決して他人事ではなく、働き盛りの社員を突然襲う身近なリスクです。

システム開発という高度な頭脳労働を担うエンジニアたちが、万が一の病の不安に怯えることなく、安心して長く能力を発揮し続けるためには、個人の自己責任に帰するのではなく、「会社という組織が、どれだけ強固なセーフティネットを張れるか」が極めて重要になります。

当社ではこれまでも、定期健康診断の徹底に加え、以下のような「がん予防・早期発見・万が一の治療と生活保障」を網羅した多層的な福利厚生を整備してまいりました。

- **【早期発見・見逃し防止】** 健診での異常を放置させない「再検査・オプション検査補助制度」
- **【女性特有のがん対策】** 自己負担ゼロで受診できる「女性疾病の健康診断補助制度（乳がん・子宮頸がん）」
- **【自宅でできるリスク検査】** 希望者全員が受検可能な「MAMORU（がん予防メディカルクラブ）制度」
- **【万が一の治療費・生活保障】** がん通院（最大300万円）等の補償を会社負担でカバーする「業務災害総合保険制度」

これらの制度を「ただあるだけ」の形骸化したものにせず、本当に社員の命を救える「生きた制度」として運用し続けるために、国（厚生労働省）の最新の方針や専門医の知見、先進企業の成功事例を直接学ぶ必要があると判断し、今回の全国大会への参加を決定いたしました。

■ 大会で得た学びと、今後のアクション

本大会の基調講演や、先進企業による事例紹介を通じて、改めて「**制度を作り、使われる状態にすること**」、そして「**従業員全体のヘルスリテラシーを高めること**」の重要性を痛感いたしました。

どんなに手厚い保険を用意していても、社員自身に「早期発見」の意識がなければ命は守れません。今後は、本大会で得た知見をもとに、「MAMORU制度」や「再検査補助制度」の利用率をさらに引き上げるための社内啓発を強化するとともに、万が一罹患した際の「治療と仕事の両立支援」の仕組みをより柔軟で温かいものへとブラッシュアップしてまいります。

■ 会社からのメッセージ

がんをはじめとする深刻な病のリスクに対して、会社が「治療費の心配はいらないから、まずは安心して休んで治してほしい」「あなたの帰ってくる場所は必ずある」と明確に約束できる体制を築くことは、社員とご家族に対する最大の誠意です。

日本ナレッジスペース株式会社は、これからも時代の変化や医療の進化に敏感にアンテナを張り、社員一人ひとりが心身ともに健やかに、安心して長く働ける最高の環境づくりに投資を続けてまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

日本ナレッジスペース株式会社

担当部署： 総務部人事課

TEL： 03-6689-8174

Email： jinji@jpn-ks.co.jp